

研究テーマ

自ら学ぶ力と豊かな心を育てる情報教育をめざして  
～ メディア活用で育てる情報活用能力 ～

1年 国語科 「じどう車ずかんをつくろう」



平成24年11月21日（水）5校時 1年1組教室

講師 川崎市総合教育センター 指導主事 樋口 彰 先生  
授業者 川崎市立真福寺小学校 武川 恭子 教諭（1年1組）

1:15 1:30

2:15 2:30

4:05

受付	授業公開 1年1組教室（2階）	移動	全体会 研究協議 （学校図書室）	指導講評
----	--------------------	----	------------------------	------

第1学年 国語科学習指導案

指導者 川崎市立真福寺小学校 武川 恭子

1. 日時・場所 平成24年11月21日(水) 5校時  
川崎市立真福寺小学校 1年1組 教室

2. 単元名 じどう車ずかんをつくろう

3. 単元目標

- ・いろいろな自動車について情報を得るために、自動車の「しごと」と「つくり」を説明した本や文章を選んで読もうとする。
- ・自動車についての情報を得るために、自動車の「しごと」と「つくり」がわかる文章を見付けながら読むことができる。
- ・主語と述語との関係に注意しながら文と文章を読むことができる。

4. 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<p>・いろいろな自動車について情報を得るために、自動車の「しごと」と「つくり」を説明した本や文章を選んで読もうとしている。</p>	<p>・自動車についての情報を得るために、自動車の「しごと」と「つくり」がわかる文章を見付けながら読んでいる。 〈イ〉</p> <p>・自動車の「しごと」と「つくり」について説明する文や文章を、絵や写真などを参考にしながら書いている。 〈イ〉</p>	<p>・主語と述語との関係に注意して文や文章を読んでいる。 〈イ(カ)〉</p>

5. 単元について

(1)児童の実態と目指す子ども像について

①児童の実態

小学校生活を始めてから8か月ほど経った子どもたちは、周囲との関わりが広がり、周りの友達と一緒に活動する楽しさも感じ始めている。学習全体を通して、「知っていることを教えたい」「みんなの前で言いたい」という気持ちがある一方で、コミュニケーションの対象が教師であることが多く、「友達に伝える」という意識はまだまだ多くないようだ。また、生活経験の違いから、語彙の量やイメージ力については個人差が大きい。読み書きの困難さを感じている児童もあり、学習面で個別的な支援を必要とする児童も少なくない。

そこで、「おはなしきいて」の「お気に入りのものを教えるね」のスピーチを学習した際には、実物や写真を示しながら話をする中で、伝えたいことを補うことができたり、子ども同士でイメージを共有できたり、スピーチ後のやりとりが広がった。さらに、質問はもちろんのこと、「私は・・・です」と自分

と比べて聞くことができた。感想交流を通して、「自分のことがしっかり話せた」、「周りが自分の話をしっかり聞いてくれた」という嬉しさを感じているようだ。

週1回の朝読書の時間には、担任やボランティアさんが読みかせを行い、みんなで本に親しんできた。一人読みの時間には、絵本の絵を見て楽しむ子、文字をじっくり追ってお話を味わう子、昆虫などの生き物の本に興味がある子など、思い思いに読書を楽しむ様子が見られる。国語の「くちばし」や「みいつけた」の学習では、知っていることを話したり、教科書の挿絵を見ながら内容を確認めたりする学習を一緒に行ってきた。

## ②目指す子ども像

子どもたちにとって、自動車は身近なものであるが、「はたらく車」がどんな仕事をして、どのようなつくりになっているかを十分に捉えることは難しい。また、自動車への興味・関心の差も大きいと思われる。そこで、学習の見通しを持つ段階では、少しでも「はたらく車」に対して親しみを持てるように、事前に家庭から持ってきたミニカーや本などを手に取ることができるような場を設けたり、動画を活用してイメージを持たせたりすることで、意欲的に学習に取り組めるようにしたい。

学習の中で、実際にはたらく車の実物を見ながら確かめることは難しい。そこで、動画や写真などを用いることで、はたらく車の高さや大きさ、動きなどについて具体的なイメージをもって感じ取ることができたり、言葉の意味を理解したりするのに役立つと考える。視覚的に理解を促しながら、「しごと」と「つくり」に着目できるようにする。また、得た情報について、「しごと」と「つくり」を分ける経験や、「しごと」と「つくり」を結びつけながらカードにまとめる経験を子どもたちがすることで、「のりもの図鑑」をつくる学習にスムーズにつなげていきたい。

「のりもの図鑑」を作る活動では、自分で「はたらく車」を選ぶ。その際に、絵本や図鑑をどのように使っていくか、本の選び方を丁寧に確かめることで学習がスムーズに進められるようにしたい。絵本や図鑑などを用いる中で、活字からの情報と同時に写真や挿絵から気がつくことも大切に扱い、自分で見つける楽しさにも気づけるようにする。図書室にある本や図鑑などは、1年生にとって情報量が多すぎるものもあるので、図書室にある本以外にも、家庭から持ってきたものやのりものカードを併せて活用する。家庭で慣れ親しんだ本を学習に活用することで、学習後の家庭での読書にもつなげていきたい。またこの学習をきっかけにして、物語や絵本のほかに、知識を得るための本にも興味を持てるようにしたいと考えている。

## (2)単元設定の理由

児童が関心を示す物の一つとして乗り物がある本単元で学習する教材「じどう車くらべ」は、その乗り物の中でも特に生活に身近な自動車を取り上げている。そして、教材「みいつけた(1年上)」と同様「問い+答え+答え+答え」という列挙型の構成になっている説明的な文章である。それぞれの自動車がどんな「しごと」をしているか、そのためにどんな「つくり」になっているのかというように問いが二つあるため、二つの事柄の因果関係を挿絵とともに分かりやすく説明する形をとっている。活動を通してそれぞれの自動車の説明が「しごと」についてと「つくり」についてのまとまりからなっていることや「そのために」という言葉の役割に気づかせたい。

また、バスや乗用車トラック・クレーン車を比べながら読み取ってきた児童が、ほかの自動車について調べて書く内容になっている。自分が選んだ自動車について調べて書くためのステップとして、はし

ご車について考える課題はクラス全員でいっしょに「しごと」と「つくり」について考えていく。ここではしご車の映像や教科書の挿絵などを活用し、児童が主体的に「しごと」と「つくり」を書くために必要な情報を収集・判断していけるようにしたい。そして、自分の選んだ自動車について調べる時間で、児童は人に聞いたり、絵本や図鑑、ミニカーを見たりして情報を集め、今までの学習したことを生かして、必要な情報を判断しながら書き写したり、書き換えたりして自分なりの表現をしていくことになる。

本単元の学習で、できるだけ様々な種類の図書やミニカーを用意したり、自動車に関する映像を見せたりすることで、子どもたちの心を豊かにし、自動車がどんな「しごと」でどんな「つくり」になっているのかを知りたいというわくわくした気持ちをもてるようにしたい。そして、自分たちが調べて作った自動車カードを集めて、みんなで「自動車図鑑を作ろう」という大きなめあてをもつことで、意欲的に取り組むことができると考えている。

本単元では、いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」について見つけ出す楽しさや、自動車カードを交換して読み合い、新しいことを知る喜びも味わうこともできる。教材で学習して文章を書くことや自分が知りたい知識を得るために本や文章を選んで読むことは読書の範囲を広げることは、繰り返し経験させたい言語活動である。計画的に積み重ねることによって、実際に使える力として獲得させていくようにしたい。

## 6. 研究テーマとの関わり

研究テーマ

「自ら学ぶ力と豊かな心を育てる情報教育をめざして」

－ メディア活用で育てる情報活用能力，メディア活用で伸ばす確かな学力 －

子どもたちの情報活用能力を育成するためには、子どもたち自身が様々なメディアの特性を生かし、適切に活用しながら問題解決に取り組む学習活動の充実が大切である。

今回の取り組みでは、

- ①「メディア活用で育てる情報活用能力」の要素に重点を置き、メディアを効果的に使うことで子どもの情報活用能力を伸ばせるような授業のてだてを具体的に考える。
- ②本時を中心に育てる情報活用能力は「情報活用の実践力」のうち、「必要な情報を主体的に判断する」力とする。

といった点を意識しながら学習指導案を作成した。

今回の授業の主体は、メディア活用の入門期とも言える1年生である。教室にあるICTや図書資料といったメディアで学習内容への興味や関心を高め、映像資料の活用によって生活経験の個人差をフォローしながら読み取りの内容を深める経験や読み取り方そのもののモデルとなる体験をさせたい。特に本時では、はしご車の映像や教科書の挿絵などから子どもが主体的に「『しごと』と『つくり』」を書くために必要な情報を収集・判断できたか、また、そうした意図に対応したてだてとして用意した映像資料が効果的であったかどうかを検証していこうと考えている。

7. 指導計画（11時間）

次	時	評価規準と評価方法	主な学習活動	指導上の留意点 使用するメディア及びねらい
1	1	<p>【関】自動車に興味をもって発表し、意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>☆発言・行動観察</p>	<p>○知っている自動車や調べたい乗り物を紹介し合う。</p>	<p>どんなじどう車があるかはなしあおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・50インチテレビ</li> <li>・拡大提示装置</li> <li>・絵本や図鑑</li> <li>・ミニカー</li> </ul> <p>☆ミニカーを拡大提示したり、絵本や図鑑を見たりすることで自動車について興味関心を高められるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで見たり乗ったりしたことのある自動車や絵本や図鑑で知っている自動車について話し合うようにする。</li> <li>・興味のある自動車については、絵本や図鑑、ミニカーなどを参考にして話ができるようにする。</li> <li>・自動車の名前がなかなか出てこない児童には、道路で走っている自動車や工事で使われている車を思い出すように声をかける。</li> </ul>
	2		<p>○いろいろな自動車の映像を視聴する。</p> <p>○「みんなで自動車図鑑を作ろう」という課題を設定し、学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD</li> <li>・DVDプレーヤー</li> </ul> <p>☆いろいろな自動車の映像を視聴することで次時以降の学習の意欲を高められるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が実際に作る自動車図鑑の見本を用意し、これから学習していくことのイメ</li> </ul>

				ージがわくようにする。
2	<div data-bbox="363 248 1318 320" data-label="Section-Header"> <p>いろいろなじどう車のしごととつくりをみつけよう。</p> </div>			
3	<div data-bbox="261 344 639 472" data-label="Text"> <p><b>【言】</b> 主語や述語の関係に注意して文や文章を読んでいる。</p> </div>	<div data-bbox="667 344 1045 472" data-label="Text"> <p>○バス・じょうよう車の「しごと」と「つくり」を読み取る。</p> </div>	<div data-bbox="1098 344 1430 568" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・50 インチテレビ</li> <li>・拡大提示装置</li> <li>・ミニカー</li> <li>☆学習する車(ミニカー)を拡大提示しながら導入でクイズをして学習意欲を高める。</li> </ul> </div>	
	<div data-bbox="261 495 639 663" data-label="Text"> <p>☆発言・色線 <b>【読】</b> 3種類の車の「しごと」や「つくり」を見つけながら読んでいる。</p> </div>	<div data-bbox="667 495 1045 663" data-label="Text"> <p>○「しごと」と「つくり」について説明した文に赤と青の線を引いて区別し、関係を確認する。</p> </div>		
	<div data-bbox="261 685 639 712" data-label="Text"> <p>☆発言・ワークシート</p> </div>	<div data-bbox="667 685 1045 712" data-label="Text"> <p>○ワークシートにまとめる。</p> </div>		
4		<div data-bbox="667 779 1045 853" data-label="Text"> <p>○トラックの「しごと」と「つくり」を読み取る。</p> </div>	<div data-bbox="1098 618 1430 875" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・50 インチテレビ</li> <li>・デジタル教科書</li> <li>・コンピュータ</li> <li>☆デジタル教科書にある自動車の挿絵を拡大提示し、「しごと」や「つくり」を読み取るための手立てとなるようにする。</li> </ul> </div>	
		<div data-bbox="667 875 1045 1043" data-label="Text"> <p>○「しごと」と「つくり」について説明した文に赤と青の線を引いて区別し、関係を確認する。</p> </div>		
		<div data-bbox="667 1066 1045 1093" data-label="Text"> <p>○ワークシートにまとめる。</p> </div>		
5		<div data-bbox="667 1115 1045 1189" data-label="Text"> <p>○クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取る。</p> </div>	<div data-bbox="1098 920 1453 2009" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで自動車図鑑を作るために、どのようにカードを書いたらよいか教材で学習することを伝える。</li> <li>・二つの問いの文があることを確認し、「しごと」と「つくり」の二つのまとまりで構成されていることに気づけるようにする。</li> <li>・「くちばし」「みいつけた」で学習した「問い」と「答え」の関係に気づき、答えの文を見つけることができるようにする。</li> <li>・「しごと」の文には赤線、「つくり」の文には青線を引いて区別できるようにする。</li> <li>・「そのために」という言葉に注目させ、「しごと」と「つくり」には関連があることに気づけるようにする。</li> <li>・片仮名で書く言葉は板書し、筆順を示す。</li> </ul> </div>	
		<div data-bbox="667 1211 1045 1379" data-label="Text"> <p>○「しごと」と「つくり」について説明した文に赤と青の線を引いて区別し、関係を確認する。</p> </div>		
		<div data-bbox="667 1402 1045 1429" data-label="Text"> <p>○ワークシートにまとめる。</p> </div>		



			<p>ついて確かめる。</p> <p>○みんなで見つけた「しごと」と「つくり」をもとに、ワークシートにまとめる。</p> <p>○次回の学習の予告をする。</p>	<p>印をつけながら確かめていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵の左側にはどんなシーンがあるかを想像させ、「しごと」に目が向くようにする。</li> <li>・板書の内容を手がかりにして、はしご車の「しごと」と「つくり」を結びつけて考え、自分の表現で書けるように声をかける。終わったら挿絵の色を塗ったり、周囲の絵を描いたりして待っているように声をかける。</li> <li>・次時に自分が書きたい自動車を選び、図鑑を作ることを知らせる。また、次時から使う本についていくつか紹介し、朝読の時間や休み時間にも探せることを知らせておく。</li> </ul>
3	7	<p>【関】図鑑を作るために、自動車についての絵本や図鑑を進んで読もうとしている。</p> <p>☆行動観察</p>	<p>じどう車ずかんをつくろう。</p> <p>○家から持ってきた本や教室にある絵本や図鑑を読み、図鑑にのせたい自動車を選ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50インチテレビ</li> <li>・拡大提示装置</li> <li>・絵本や図鑑</li> <li>・ミニカー</li> </ul> <p>☆できるだけたくさんの絵本・図鑑・ミニカーなどを用意し、自分の好きな自動車を見つけられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めから自動車を決めて本を選ぶのではなく、本や図鑑の読み取りをもとに自動車を選ばせるようにする。</li> <li>・なかなか選べない児童には、2時間目に見た映像の中から気に入った自動車を思い出して一緒に本をめくった</li> </ul>



		<p>8 【言】主語や述語の関係に注意して文や文章を読んでいる。</p> <p>9 ☆ワークシート</p> <p>10 【読】自動車についての情報を得るために、自動車の「しごと」と「つくり」がわかる文章を見付けながら読んでいる。</p> <p>☆発言・ワークシート</p>	<p>○選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を読み取り、短冊(赤と青)に書きぬく。(「しごと」が赤、「つくり」が青)</p> <p>○短冊を赤、青の順に並べて、短冊をもとにワークシートに清書する。</p> <p>○挿絵を描く。</p> <p>○自動車図鑑を作り、学習をふりかえる。</p>	<p>り、どんな自動車が好きか話したりしながら決めることができようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習してきたことを参考にしてワークシートに書くようにする。</li> <li>・本から「しごと」と「つくり」についての情報を収集し、赤と青の短冊に分けて書くようにする。</li> <li>・大切なことを落とさず、最初にもってこられるようにして清書する。</li> <li>・興味がある児童や早くできた児童は、ほかにも調べてワークシートにまとめてよいことを伝える。</li> <li>・ワークシートには、挿絵を添えることができるようにする。</li> <li>・できあがったワークシートを紹介し、感想を発表し合うことができるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・50インチテレビ</li> <li>・実物投影機</li> </ul> <p>☆できあがったワークシートを拡大提示し、発表するときの手立てとなるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想がなかなか言えない児童には、「初めて知ったこと」「いいなと思ったこと」などの観点を示し、充実した交流になるようにする。</li> <li>・ワークシートを一つにまとめて図鑑を作り、名前をつけるようにする。</li> </ul>
--	--	--	--	--

8. 本時の展開

(1) 本時の目標

はしご車の「しごと」と「つくり」を読み取る。

(2) 本時の展開 (6 時間目)

評価規準と評価方法	学習活動	指導上の留意点 使用するメディア及びねらい
	1. 学習課題を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はしご車のミニカーを実物投影機で映し、興味を持たせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 50 インチテレビ</li> <li>・ 拡大提示装置</li> <li>・ ミニカー</li> </ul> <p>☆学習するはしご車(ミニカー)を拡大提示し、学習への興味関心を高める。</p> </div>
<p>はしご車の「しごと」や「つくり」をみつけよう。</p>		
	2. はしご車の映像を見て、「しごと」や「つくり」など、気がついたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像を見るときには、はしご車の「しごと」と「つくり」に着目して見るように声をかける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 50 インチテレビ</li> <li>・ DVD</li> <li>・ DVDプレーヤー</li> </ul> <p>☆はしご車の映像を見せ、「しごと」や「つくり」を考える際の手立てとなるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表するときの手がかりとなるように、黒板に教科書の挿絵の拡大コピーを提示する。</li> <li>・しごとやつくりに限定せずに、気がついたことを発表させる。板書する際には、「しごと」と「つくり」に分けながら、短い言葉で黒板にまとめる。</li> <li>・のびる、うごくなどの言葉の意味をおさえる必要がある場合には、ミニカーを拡大提示装置に映し、動かしながら全体で確かめるようにする。</li> </ul>

<p>【読】映像や挿絵から、はしご車の「しごと」や「つくり」を読み取ることができる。 ☆発言・ワークシート</p>	<p>3. 教科書の挿絵を見ながら、「しごと」と「つくり」について確かめる。</p> <p>4. みんなで見つけた「しごと」と「つくり」をもとに、ワークシートにまとめる。</p> <p>5. 次回の学習の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書でまとめたつくりに着目できるように、挿絵に○印をつけながら確かめていく。</li> <li>・挿絵の左側にはどんなシーンがあるかを想像させ、「しごと」に目が向くようにする。</li> <li>・板書の内容を手がかりにして、はしご車の「しごと」と「つくり」を結びつけて考え、自分の表現で書けるように声をかける。終わったら挿絵の色を塗ったり、周囲の絵を描いたりして待っているように声をかける。</li> <li>・次時に自分が書きたい自動車を選び、図鑑を作ることを知らせる。また、次時から使う本についていくつか紹介し、朝読の時間や休み時間にも探せることを知らせしておく。</li> </ul>
---	--	--

板書計画

## はしご車の「しごと」と「つくり」を みつけよう。

教科書の挿絵

仕事をイメージできる  
高い建物・助けを待つ人・火の絵

しごと

- ・ たかいところの人をたすける。
- ・ たかいところの ひを けす。

つくり

- ・ はしごが ながく のびる。
- ・ しっかりした あしがでる。
- ・ はしごのさきに 人がのるばしよがある。
- ・ はしごのさきにホースがついている。

50インチテレビ

- ① はしご車のミニカー提示
- ② はしご車の映像
- ③ ワークシート提示